

第一分科会

地域日本語教育の専門家って何するの？

～空白地域解消の実践から(地域日本語教育スタートアッププログラム)～

❁ 地域日本語教育スタートアッププログラム

<対象>

- 「生活者としての外国人」を対象とした日本語教室がこれまで開設されていない地域（空白地域）
- 地方公共団体（国際交流協会含む）が申請

<内容>

- 日本語教室の立ち上げに向けた準備・体制整備
- 地域日本語教育アドバイザー（文化庁が委嘱）を派遣支援
- 現地で活動するコーディネーターの支援

トッププログラム

委嘱【地域日本語

い えりこ)

【養学部 教授

【会日本語教育小委員

文化庁委嘱 地域日本語教育 アドバイザー名簿 (通称 アドバイザーリスト)

29名のアドバイザー

・シニアアドバイザー(4名)

・日本語教育施策
アドバイザー(25名)

2. 伊東 祐郎 (いとう すけろう)

東京外国語大学 副学長・附属図書館長

公益社団法人日本語教育学会 会長

文化審議会国語分科会 会長

文化審議会国語分科会日本語教育小委員会 主査



員会 委員 (~平成 27 年度)



国際センター 所長



行理事

会議 委員 (平成 26 年度~)

○日本語教育分野

○政策分野

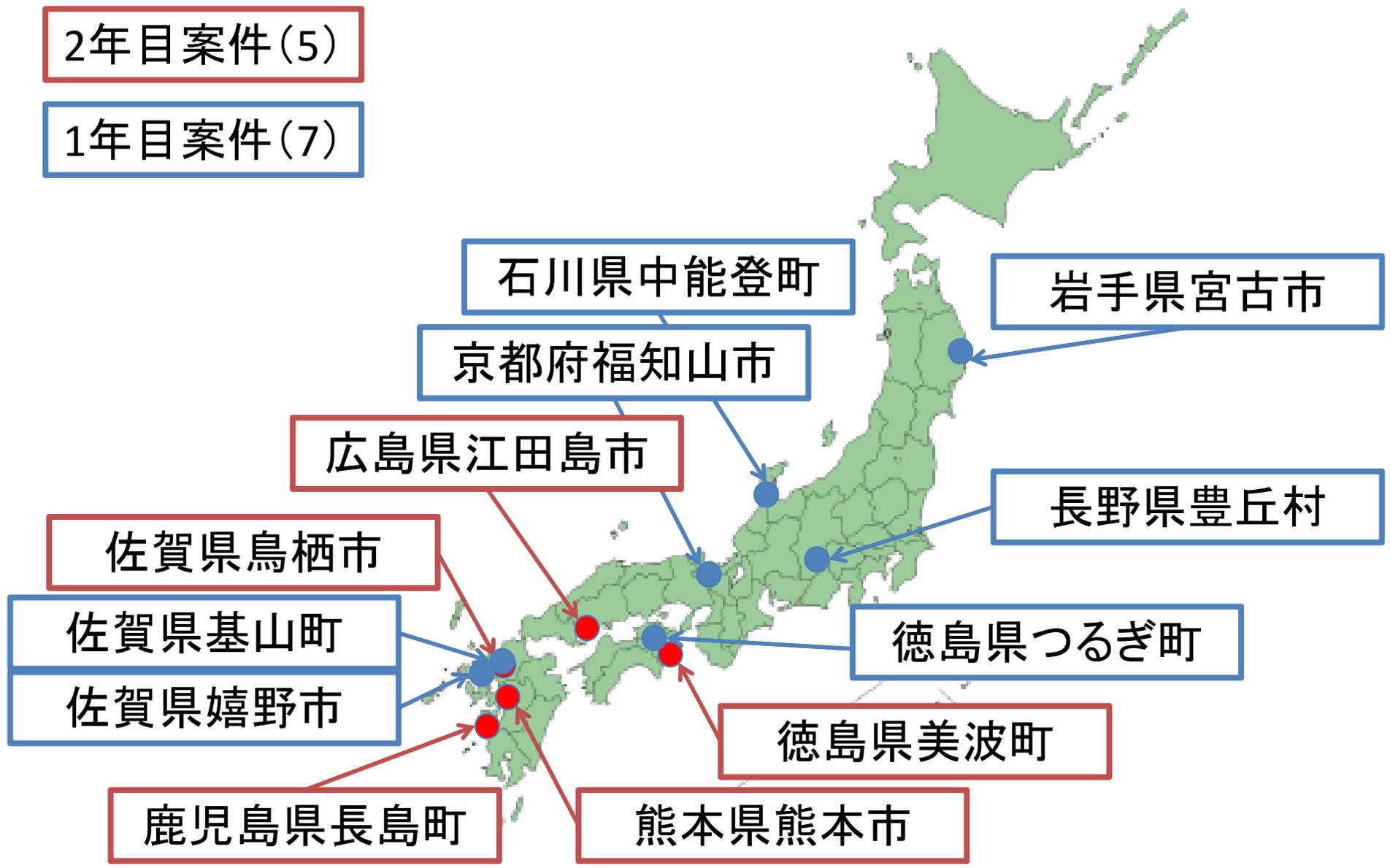
等

- ・大学 9名
- ・国際交流協会 11名
- ・NPO法人・任意団体等 7名
- ・日本語学校 2名

事業採択団体一覧

2年目案件(5)

1年目案件(7)



登壇者紹介

❖ 西原鈴子(NPO法人日本語教育研究所)

– (2年目)徳島県美波町

– (1年目)京都府福知山市、徳島県つるぎ町



❖ 伊東祐郎(東京外国語大学)

– (2年目)広島県江田島市、鹿児島県長島町

– (1年目)佐賀県嬉野市



❖ 米勢治子(東海日本語ネットワーク)

– (2年目)鹿児島県長島町



❖ 進行:神吉宇一

(武蔵野大学・文化審議会国語分科会日本語教育小委員会)